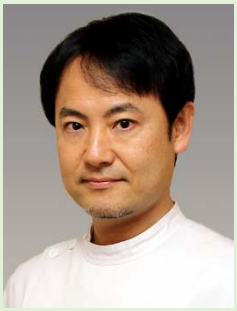
認知症対応力向上研修会(アドバンス)

介護現場における認知症の方の対応

講師：上村 尚之先生(福岡県認知症介護指導員)

介護現場における認知症ケアとは、認知症が原因で起こる不安や混乱を軽減していくことを目的としています。認知症を発症しても自分らしく安心して日常生活を継続させるための支援方法となります。その中で最も大切なことは「症状」ではなく「人（心）」を見るという行為になります。パーソン・センタード・ケアという認知症ケアの理念の元、認知症介護の口腔ケアの場面で、どのようにアプローチしているのかを、具体的な実践報告（口腔ケアを拒否する認知症高齢者の方が口腔ケアを受け入れるまで）を交えてお話していきたいと思います。



認知症の人の口腔健康管理 ～包括的コミュニケーション技法の活用～

講師：岩佐 康行先生(社会福祉法人　原土井病院　副院長)

認知症を発症すると口腔のセルフケアが難しくなり，う蝕（根面う蝕）や歯周病によりこれまで維持してきた歯を喪失することにつながる．このことは咀嚼や嚥下にも悪影響を及ぼし，誤嚥性肺炎のリスクが高くなるため，介護者による口腔ケアや，歯科医療者による口腔衛生管理が必要となる．その一方で，口腔に触れられることに対して強い拒否を示す認知症の人もおり，現場では対応に苦慮することが多い．そこで近年は，ユマニチュード®ケアなどの「包括的コミュニケーション技法」を歯科医療の現場で活用することが注目されている．演者は，病棟職員による口腔ケアにユマニチュード®を導入することを試みた経験があり，今回その経験を基に，包括的コミュニケーション技法を活用した口腔衛生管理についてお話させていただく．

日時　令和6年 12.7 土　14：30～17：00

場所　警固神社社務所ビル
福岡県福岡市中央区天神２丁目２-２０

対象　過去に県歯主催の認知症対応力向上研修会ベーシックコースを受講された方

締切　令和6年11月30日(土)まで

▼お申し込みはコチラ▼

QRコードから
お申し込みください

TEL 092-771-3531

公益社団法人 福岡県歯科医師会

※本研修会は認知症対応力向上研修会ーベーシックコースを受講された方を対象としております。認知症対応力向上研修会ベーシックコースの受講は10月16日(水)～11月17日(日)まで福岡県歯科医師会のホームページ内で受講可能です。